

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財) 全国地域情報化推進協会 御中

報告日

派遣決定番号 095L

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(2日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	愛知県大府市	代表者名	岡村 秀人
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0562-45-6253
担当者役職	主任	担当者氏名	盛林 達哉
		連絡先E-mail	
住所	474-8701 愛知県大府市中央町五丁目70番地		

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

団体名		連絡先部署	
担当者氏名		連絡先電話番号	
		連絡先E-mail	

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	松浦 龍基
評価	大変よい
上記評価の理由(どのようなところがよかったか等詳細に)	講演当日の資料を基に、具体的な講演内容の調整ができたため。
アドバイザーへの要望事項	特にありません。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2021年8月17日	11時00分	12時00分		60
	派遣形態	支援・助言(オンライン)			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input checked="" type="radio"/> 掲載可
------	--------------------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	職員	3人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点(具体的にご記入下さい)	大府市の「大府市情報化基本計画」や国の「自治体DX推進計画」、「デジタル・ガバメント実行計画」等に基づいてDXを推進するにあたり、職員研修を行いたいと考えていますが、DXについての専門的な知識やDX推進についての経験のある職員がいません。特に今回の研修は、各所属長に向けての実施となりますので、広い視野を持った専門の講師による研修を行うことで、DX推進の知識・意識の全体的な底上げができると考えます。	
支援により目指す成果(具体的にご記入下さい)	・DX推進についての意識の醸成 ・DXを推進するための手順、手法及び事例等についての理解の促進	
アドバイザーに支援を受けた内容(具体的にご記入下さい)	講演の事前調整(講演資料の具体的な調整)	
支援を受け改善又は解決された内容(具体的にご記入下さい)	講演内容及び講演資料の確定	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容(具体的にご記入ください)	特にありません	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 事前調整のためなし	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	④予算以外で、今後取組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	大府市の「大府市情報化基本計画」や「自治体DX推進計画」等の国の計画に則って、計画的にDX化が図られている	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

